

## パブリックコメントで寄せられた意見の概要及び市の考え方

平成24年12月12日から平成25年1月11日までの間、かいづ健康づくりプラン【中間評価及び改訂】について意見等の募集を行った結果、2人の方から7件の意見等をいただきました。これらの意見について適宜要約したうえ、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方を次のとおり公表します。

意見の概要	件数	市の考え方
このプランは市民からのアンケート・他にもとづいて策定されていますが、対象総計が何人であるのかが記載されていません。母数を明確にする必要があります。	1	対象総計は、プラン3ページに掲載しているとおりの1,736人です。詳細については、資料編に記載させていただきます。
<p>「第4章計画の推進にあたって／2 計画の推進・評価について」において(1)の3) 計画の具体的な取り組みは「各事業の中に……具体的な取り組みを実施してゆきます。」とありますが、(①～③)</p> <p>①このプランはH20年から取り組まれているということだが、実施例が記載されていないのでどのような形で施策に組み込まれているのかが見えません。</p> <p>具体例を示すことでより理解できます。</p>	1	<p>本プランでは、実施主体として「個人や家庭」「地域や関係団体」「行政」に分けて、取り組みを記載させていただいています。</p> <p>これは、計画策定時に様々な市民の方々の参画を得てまとめた内容であり、個人や家庭をはじめとして、各主体の取り組みをわかりやすく表現させていただいています。今回の中間評価及び改訂でも策定時の内容を基に検討を行いました。</p> <p>これまで、「個人や家庭」については、掲載している内容と呼び掛け、関係団体をはじめとして、様々な場面で市民に向けての啓発活動を行い、市民自らの取り組みを働きかけています。</p> <p>「地域や関係団体」「行政」については、各主体が行っている(行った)取り組みについての実施状況を確認し、今後も継続して実施していくもの、新たに実施するもの、既に役割を終えて廃止する(したもの)を検討し</p>

		<p>ました。</p> <p>その結果として、今後推進していく取り組みを改訂版の具体的な取り組みとして掲載しました。中でも「行政」の内容については、具体的な事業や場面での記載をさせていただいています。</p>
<p>②取り組み内容はそれぞれのスローガン毎に実施主体別に記載されているが、「何時・誰が・どこで・何を・なぜ・どうやって」の中の「何時・誰が・どこで」が示されてなく、計画というものはこれらについても示されるべきものと考えます。</p>	1	<p>「何時」「どこで」については、具体的な場面や機会をできるだけ記載しています。</p> <p>「誰が」については、実施主体を示しており、学校、食生活改善員等も記載させていただいています。</p> <p>具体的な各取り組みの計画、スケジュール等は紙面の都合上詳細には記載していませんが、関係団体、行政の各担当が今後5年間で計画的に実施するものになります。</p> <p>しかし、ご指摘のとおり具体性に乏しいと考えますので、「第4章計画の推進にあたって」について、わかりやすい表現に変えさせていただきます。</p>
<p>③取り組み実施主体別に行政の件数は71項目、個人や家族は40項目、地域は34項目総計115項目あります。残り5年間で実践しようとしているが、こんな多項目のことをそれなりの成果が出るやり方の内容・経緯を知りたい。教えてください。</p>	1	<p>プランで掲げた取り組みは、既に実施されているものと新たに実施するものがあります。多くは、既に継続して実施してきているものとなっています。</p> <p>今回の中間評価を行って、成果をあげているものについては引き続き実施していきます。また、成果があがらなかったものについては、課題を掲げ、改善を図る取り組みを検討し、掲載させていただきました。掲載している多方面での取り組みを行い、目標指標の達成をしたいと考えています。</p>
(2) 評価について (①、②)	1	<p>評価については、保健・医療に関す</p>

<p>①図には評価体制として協力連携機関がまた「経年的に進行管理・評価してゆく」と記載してありますが、これも「何時・誰が・どこで・何を・なぜ・どうやって」が欠如しています。</p>		<p>る専門家や関係団体で構成する「健康づくり推進協議会」において、プランの年度ごとの事業の実施状況、その成果報告、次年度の取り組みへの改善について検討、助言をいただいております。今後もこの体制を継続する予定です。それを示した図となっています。</p> <p>しかし、ご指摘のとおり具体性に乏しいと考えるので、「第4章計画の推進にあたって」について、わかりやすい表現に変えさせていただきます。</p>
<p>②「客観性のある指標」とは具体的にどんな指標なのでしょう？すでに指標が決まっているのであれば記載すべきです。特に計画策定時からの取り組み項目については「存在する」と推察します。</p>	1	<p>「客観性のある指標」とは、本プランの各分野で掲げられている指標です。</p> <p>この指標を達成するために、それぞれの取り組みを行う内容となっています。</p>
<p>現代病である心臓病、がん、高血圧、糖尿病は食生活がもとで生じる病気です。</p> <p>海津市も様々な生活習慣病対策をされていますが、医療費の増大による財政の圧迫が問題になると考えます。</p> <p>そこで、病気になる前の予防に力を注ぎ、病気になる人が減り、医療費も減り、何より市民の生活の質が向上すると考えます。</p> <p>質のいい食べ物、バランスの取れた食事をして、健康で病気にならない身体づくりが必要です。</p> <p>もう1点、私たちの健康を守るためには、活性酸素対策が必要です。病気の90%は活性酸素に原因があると言われており、抗酸化物質の緑黄色野菜をたくさん摂ることが必要です。</p> <p>抗酸化レベルを測定できる機器を導</p>	1	<p>本プランでは、栄養・食生活・食育や身体活動・運動などの各分野の取組を行い、健康寿命（健康で自立して生活できる期間）を延ばすことが重要と考えて取り組んでいます。</p> <p>いただいたご意見を参考にしながら、健康について総合的に取り組んでいきたいと考えています。</p>

<p>入して、数値を確認することで、食事に対する関心も高まると考えられます。良い情報を医師や雑誌から得て、市民各自が食事に注意し、ストレスに勝つよう抗酸化レベルを保つことで健康に過ごせると思います。</p> <p>食事や運動によって「日本一医療費の掛からない健康で幸せな街・海津市」になると思います。</p>		
--	--	--